

岡大植物研第 65 号
平成30年 3月 5日

関係機関の長 殿

岡山大学資源植物科学研究所長
前川 雅彦 [公印省略]

テニユア・トラック助教の公募について（依頼）

拝啓 時下益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

当研究所は、植物科学に関する国立大学附置研究所であり、植物遺伝資源およびストレス科学に資する共同利用・共同研究拠点として研究活動を行っております。同時に、岡山大学大学院環境生命科学研究科に所属して教育活動にも携わっています。研究組織として、植物ストレス科学共同研究コア（大気環境ストレスユニット、土壌環境ストレスユニット、環境生物ストレスユニット）、大麦・野生植物資源研究センター（遺伝資源ユニット、ゲノム育種ユニット）および次世代作物共同研究コアを設けております。

この度は、ゲノム育種ユニットに所属するテニユア・トラック助教1名を次のとおり国際公募いたします。つきましては、関係者各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について宜しくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。また、貴機関以外で適任と思われる方にも、お知らせいただければ幸甚です。

今回の公募では、イネのゲノム育種学的研究を新たな視点で推進できる方を希望します。また、本公募教員には、岡山大学大学院環境生命科学研究科における研究指導および授業を分担していただきます。本公募では平成30年9月1日以降できるだけ早い時期に着任できる方を希望します。

本公募教員は、任期(5年間)が適用される助教であり、3年目(中間審査)または5年目(最終審査)にテニユア・トラック助教の昇任審査基準(別紙)によって、准教授への昇任の審査を行います。審査の結果不合格の場合は、テニユア・トラック期間の満了日で退職となります。

現在の研究所の研究組織および本公募に関する提出書類と記入要領(本依頼書に添付)等についてはホームページ[www.rib.okayama-u.ac.jp/index-j.html]をご覧ください。

敬 具

記

1 応募資格

- (1) 文部科学省卓越研究員事業に申請する方
http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm
- (2) 平成31年4月1日現在、40歳未満の方（文部科学省の卓越研究員事業により、雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号ニの例外事由に該当）
- (3) 博士の学位を有する方

2 提出書類等

- (1) 履歴書 (別紙様式1・2) 各1部
- (2) 応募者について問合せの出来る方 (別紙様式3) 1部
- (3) 研究業績一覧表および別刷 (別紙様式4) 1部
- (4) 外部資金等のリスト (別紙様式5) 1部
- (5) 現在までの研究の概要とその特色 (1200字以内) (別紙様式6) 1部
- (6) 岡山大学資源植物科学研究所における研究の抱負 (1500字以内)
(別紙様式7) 1部
- (7) 国際活動 (別紙様式8) 1部
- (8) 所属学会 (別紙様式9) 1部
- (9) 審査期間におけるインパクトファクターの合計 (別紙様式10) 1部
- (10) 平成30年度卓越研究員事業公募要領 申請書 (研究者__様式1 (別紙を含む))
- (11) 平成30年度卓越研究員公募要領 研究計画 (研究者__様式2)

※卓越研究員事業への応募について

応募者は必ず、平成30年3月26日(月)～4月26日(木)17時までの間に、日本学術振興会の電子申請システム(<https://www-yousei.jps.go.jp/yousei1/takuetsushinsei/index.html>)を通じて卓越研究員候補者になるための申請を行ってください。また、平成30年5月8日(火)までに上記(10)(11)に示した応募書類を送付ください。これをもって、事前連絡とします。

3 提出(送付)期限

平成30年5月8日(火) (必着)

4 書類提出(送付)先

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2丁目20-1

岡山大学資源植物科学研究所長 前川 雅彦

(注) 書類は一括して応募者が直接持参するか又は郵送してください。

郵送の場合は「書留」とし、封筒の表面に「ゲノム育種ユニット教員選考」と朱書願います。

なお、提出された応募関係書類は返却致しませんので御了承ください。

5 事務連絡先

岡山大学資源植物科学研究所庶務担当

TEL (086) 424-1661 FAX (086) 434-1249

e-mailアドレス: see1201@adm.okayama-u.ac.jp

応募書類により取得する個人情報、採用者の選考および採用後の人事・給与・福利関係に必要な手続き若しくは調査統計を行う目的で使用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて廃棄いたします。

この応募書類に関する個人情報の取扱い等については、当研究所庶務担当にお問合せください。

以上

記入要領

1 履歴書（様式1・2）

（1） 記入例を参照して作成ください。

2 応募者について問合せの出来る方（様式3）

本研究所が問合せ可能な方2名について、氏名、所属、連絡先およびe-mailアドレスを記入してください。

3 研究業績一覧表（様式4）

（1） 著書と学術研究論文を年代順に記入してください。

業績は著書、原著論文、その他（総説、取得特許等）に分類し番号を付けて記入してください。ただし、報告書等は含めないでください。印刷中の論文は、その証拠になる書類（コピー可）を提出してください。

（2） 共著の場合は、本人の氏名を含め、著者全員の氏名を論文に記載された順に記入してください。

（3） 主要論文5編を選び、その番号を○で囲んでください。

なお、それら主要論文の別刷り（コピー可）を各1部添付してください。

4 外部資金等のリスト（2013年から）（様式5）

（1） 「交付元」の欄には、科学研究費補助金（種目も明記のこと）等と記入してください。

（2） 「代表・分担」の欄には、代表・分担の別を記入し、分担の場合は代表者名をカッコで囲んで記入してください。

（3） 可能な限り実際の配分額を記入してください。

5 現在までの研究の概要とその特色（様式6）

（1） 1200字以内で作成してください。

（2） 研究内容がわかるようにキーワードになる部分にアンダーラインを付してください。

（3） 引用された主要論文については、各文章末に研究業績一覧表に示された論文番号を（ ）内に列記してください。

6 岡山大学資源植物科学研究所における研究の抱負（様式7）

（1） 1500字以内で作成してください。

（2） 研究を展開するための具体的な研究計画・方法と、予想される研究成果および学術的・社会的インパクトを含め、研究の抱負を記入してください。

7 国際活動（2008年から）（様式8）

国際学会，シンポジウム等における発表と運営への参加経験，国際共同研究への参加と成果等を記入してください。

8 所属学会（様式9）

9 審査期間におけるインパクトファクターの合計（様式10）

最終審査までに達成可能なインパクトファクターの総数，およびその根拠（例えば，どのような雑誌への投稿を目指すのかなど）について記入してください。なお，昇任審査基準については別紙を参照ください。

10 その他

- (1) 提出書類は，必ず黒インク，黒ボールペン又はワープロにより記入してください。
- (2) 提出書類は様式毎に，別々にA4紙に記載して提出してください（ページ数は問いません。）。
- (3) 選考の過程で必要に応じてセミナー等で発表していただくことがあります。
- (4) 給与は，年俸制となります。次のURLより「国立大学法人岡山大学職員就業規則」，「国立大学法人岡山大学年俸制適用職員給与規則」等をご参照ください。
<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/kisoku.html>
- (5) 岡山大学では，男女共同参画を推進しています。

(別紙)

テニュア・トラック助教の昇任審査について

I. 昇任審査基準

1) 研究能力

- ・ 植物遺伝資源・ストレス科学に関連する研究を、研究所教員として将来発展させうること。
- ・ テニュア・トラック (TT) 期間内、ファーストオーサーまたはコレスポンディングオーサーの論文が JCR 収録誌に受理され、応募時に自己申告した合計インパクトファクター*以上を獲得すること。

*TT 助教として赴任してから審査時まで蓄積可能な合計インパクトファクターを、応募時に自己申告する (最終審査時に 10 以上が望ましい)。

- ・ TT 期間内に国際学会において本人が発表を行うこと。

2) 教育担当能力

- ・ TT 期間内に大学院生向けの講義、演習等、あるいは大学院生の学位論文指導で教育の経験を 1 件以上有すること。
- ・ 審査時に博士後期課程の指導教員としての担当能力を有すること。

3) 資金獲得状況

- ・ TT 期間内に、本人が代表者として競争的外部資金に応募し、獲得を目指すこと。

4) その他

- ・ TT 期間内に研究所の運営に積極的に参加し、研究所の発展に貢献すること。

II. 昇任審査方法

- ・ 着任後 2 年半 (中間審査) および 4 年半 (最終審査) の時点で評価委員会を構成し、審査を受ける TT 助教に、上記の基準に関わる資料の提出を求める。中間審査時に最終審査時の昇任基準に到達している TT 助教は 4 年目から准教授に昇任する。